

1 心エコーで発見された急性心筋梗塞後心
2 室中隔穿孔の一例

3
4 ○山田裕美子 後藤光 小川優 山本祐子 林真希
5 木村豊 中村文隆 (帝京大学ちば総合医療センター
6 検査部)

7
8 【はじめに】心室中隔穿孔とは、心筋梗塞によって
9 菲薄化した心室壁が穿孔することにより起こる急性
10 心筋梗塞における重篤な合併症の一つである。今回、
11 超音波検査によって診断された早期の心室中隔穿孔
12 の一例を経験したので報告する。

13 【症例】患者：41歳男性 既往：糖尿病 経過：数
14 日前より労作時胸部症状自覚。2008年2月1日就寝
15 時胸部症状再度出現しなかなか寝付けず。トイレへ
16 行ったところ失神し転倒。胸痛軽減なく、深夜独歩
17 にて救急外来受診。緊急カテーテル検査へ出棟し、
18 PCI後IABP挿入。全身管理目的にてICU即入となる。
19 血圧の維持が困難であり、病棟にて超音波検査を施
20 行。

21 【検査所見】血圧：64/35mmHg 外来時聴診：明らか
22 な所見なし 外来時血液検査：AST 74U/L ALT 54U/L
23 LDH 336U/L CK 412U/L CK-MB 57U/L GLU 267mg/dL
24 CRP 3.4mg/dL WBC 15600 心臓カテーテル：RCA(#
25 2)100% LCX(#13)100% 梗塞責任病変#2に対
26 してPCI施行。心エコー：側壁から後壁にかけて壁
27 運動低下(EF40%)。下壁中部から心尖部にかけて
28 49mm×27mmの壁欠損部位あり(LV-RV PG:21.8mmHg)。
29 右房47.6mm 右室44.9mm 右心系拡大あり。

30 【まとめ】心室中隔穿孔の発症は急激で緊急を要す
31 ることが多い。的確な治療が行われれば救命可能な
32 ため、早期での正しい診断が重要となる。心エコー
33 は感度・特異度ともにきわめて高く、心室中隔穿孔
34 を診断しえる。我々が超音波検査を行うにあたり、
35 急性心筋梗塞後心室中隔穿孔の症例は多くはないが、
36 所見の一つであることを念頭に入れ、見落とすこと
37 のないよう検査することが必要であると考えられる。

38 連絡先：0436-62-1211
39